

管理番号 34

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ウイルス感染症の予防および治療における免疫細胞の働きの解明 (ウイルス感染症制御における免疫細胞応答の解明)
研究開発期間（西暦）	2023年4月～2026年3月
研究機関名	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
研究責任者職氏名	主任研究官 藤野真之

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

ウイルスや細菌等の病原体に対するワクチンは、病原体に生じる変異により、その効果が著しく損なわれるため、変異型の病原体に対しても広範囲に生体防御効果を発揮するワクチンの開発が望まれています。生体内において、広範囲生体防御効果を発揮する免疫機序を解明することは、広域生体防御ワクチンの開発に欠かすことができません。私たちは、免疫細胞のサイトカイン応答を指標として、幅広い変異があるウイルスに対して防御機構を発揮する免疫機構の解明を目指しています。この研究成果を通じて、広範囲な変異病原体を制御可能な新しいワクチンを開発できる可能性があります。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：血球除去工程後のフィルター
献血血液の情報：なし

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

«献血血液を使用する共同研究機関»

なし

«献血血液を使用しない共同研究機関»

なし

4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

研究は全て実験室の試験管や培養皿の中で細胞を用いて行われます。頂いたフィルターから抽出した免疫細胞へヒト免疫不全ウイルス1型(HIV-1)を感染させることにより、その細胞のサイトカイン応答の測定、抗ウイルス活性の測定、サイトカイン応答に関連する遺伝子の発現、当該遺伝子の解析を行います。

なお、この研究方法における遺伝子解析は、個人的な遺伝的背景や遺伝子の詳細な特徴などを調べるものではありません。

5 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 R050019

本研究に関する問い合わせ先

所属	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 安全実験管理部
担当者	藤野 真之
電話	03-5285-1111(内線 2197)

Mail	fmasa@niid.go.jp
------	------------------